

# 発想飛びコンテスト

第47回発表

お題で指定された「寝坊をすると」から「酸っぱい。」の間を、予測不能な6つの文章でつなげてください、というコンテストです。寝坊ダメ、絶対。

## 佳作

寝坊をすると⇒待ち合わせに遅れるのでタクシーを使う人が増える⇒渋滞が多発する⇒地球温暖化が加速する⇒月に移住する⇒日本が恋しくなる⇒故郷の味を思い出そうと日の丸弁当を食べる⇒酸っぱい。

(ケンジ 奈良県王寺町)

\*

寝坊をすると⇒大事な仕事に遅刻して社長が大激怒⇒怒られるのが怖いので寝坊をしないよう努力⇒寝不足で憂鬱になる⇒得体の知れない不吉な塊が生まれる⇒丸善に檸檬を置く⇒妄想は現実となり檸檬は爆破⇒酸っぱい。

(sekka にかほ市)

\*

寝坊をすると⇒ビックリしてすべての行動が加速する⇒通り道にいた人や物が勢いで回転する⇒回転エネルギーが地球に伝わる⇒地球の回転が速くなる⇒時間が経つのが早い⇒漬けたばかりのキムチが漬かりすぎる⇒酸っぱい。

(どなると・みつやま 静岡市)

\*

寝坊をすると⇒遅刻しそうで慌てて飛び起きて家を出る⇒重い荷物を持ったおばあさんを見かける⇒荷物を持って道案内をしてあげる⇒お礼に大きな壺と小さな壺を見せられる⇒昔話の教訓通りに小さな壺を選ぶ⇒手作りの梅干しがいっぱい⇒酸っぱい。

(蜂に紺 さいたま市)

\*

寝坊をすると⇒職場から鬼電がかかってくる⇒鬼退治のため桃太郎たちが駆けつける⇒建物はペット禁止のため家来たちは外で待つ⇒通りすぎりの人々が珍しい動物に投げ銭をする⇒鬼を成敗した桃太郎が足元のお金で滑って転んで入院⇒冒頭で寝坊をした人がお見舞いに桃を差し入れる⇒酸っぱい。

(naoki 稲城市)

\*

寝坊をすると⇒時計の示す数字が信じられない⇒眼科で視力検査を受ける⇒ランドルト環からドーナツを連想する⇒ドーナツを食べず

ぎて太る⇒鏡に映った自分が信じられず鏡を磨く⇒掃除用のクエン酸が口に入ってしまった⇒酸っぱい。

(かんみかん 稲城市)

\*

寝坊をすると⇒目覚まし時計がリストラされる⇒新しい職を求めて、キッチンタイマーとなる⇒がんばりすぎて発熱する⇒抗体検査を受けてこいと言われる⇒「だ液を出してもらいます。これを見てください」⇒梅干しとレモンの写真を見せられる⇒酸っぱい。

(逆てん 豊田市)



●短評●厳正なる審査の結果、今回は入選なしとなりました。「酸っぱい。」への着地に苦戦したのか、読み物として面白くとも場面の動きがあと一歩な作品が多かった。そんな中、飛距離と納得感を兼ね備えたお手本のような飛びっぷりが好評だったのがケンジ作。移住先の月が定番気味との声があり、惜しくも入選ならず。梶井基次郎の『檸檬』を引用したsekka作は教養が光る。どなると・みつやま作は丁寧な導入からのキムチ落ちが絶妙！昔話を巧みにアレンジした蜂に紺作とnaoki作はストーリー構成がお見事。かんみかん作は3段目の大胆発想が人気を集めた。佳作ラストの逆てん作は目覚まし時計のだ液に疑問符が浮かぶも、面白さが勝つての佳作入り。